



ICSC2024 Imabari Technical Tour Reference materials



CYCLISTS' SANCTUARY SHIMANAMI
Cycle City IMABARI

今治市自転車ネットワーク計画（2020年3月策定）

基本方針

安全・安心で、快適に通行できる自転車通行空間の確保・ネットワークづくり

○既存の道路空間を活用し、安全で安心して走れる連続した自転車ネットワークを形成

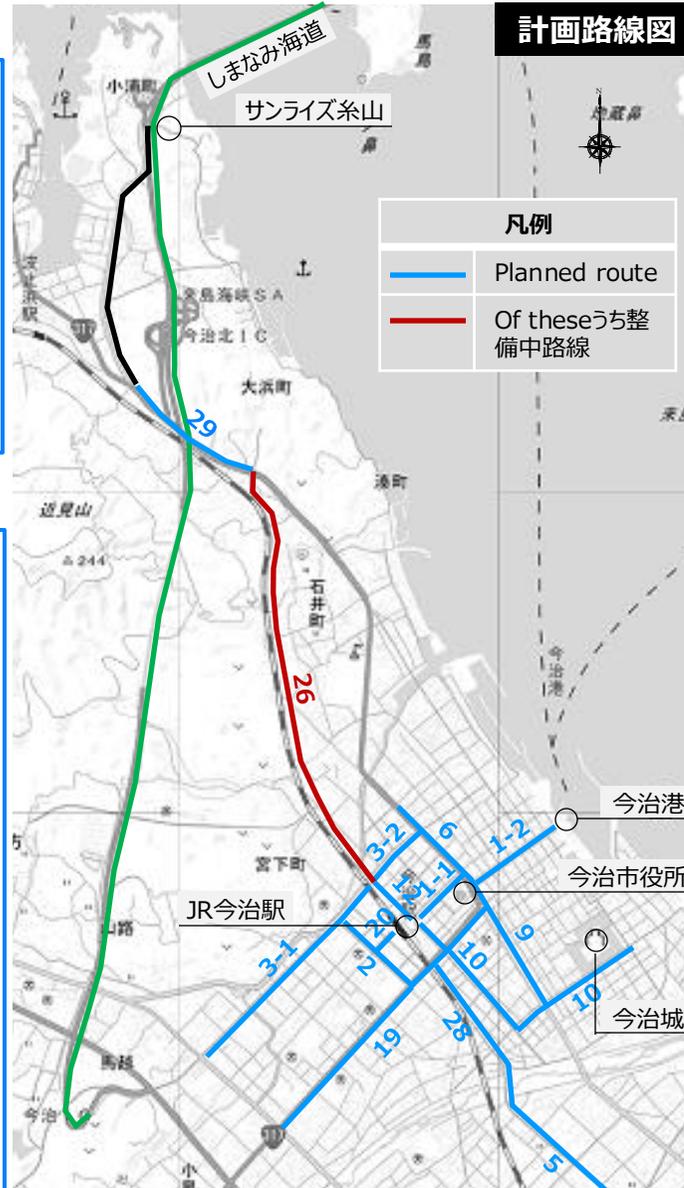
○歩行者と自転車の分離を進め、歩行者の安全に配慮した道路空間の形成を促進

計画路線の選定

市街地を中心に優先的計画策定エリアを選定し、以下の要件に4つ以上該当する路線をネットワーク計画に位置付け。

- ①自転車利用による施設アクセス性
- ②自転車関連事故対策
- ③自転車利用の安全対策
- ④自転車利用促進路線
- ⑤自転車利用の増加が見込まれる路線
- ⑥既存の自転車通行区間を有する路線
- ⑦ネットワークの連続性上の必要路線
- ⑧整備の実現性

※「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」に準拠。



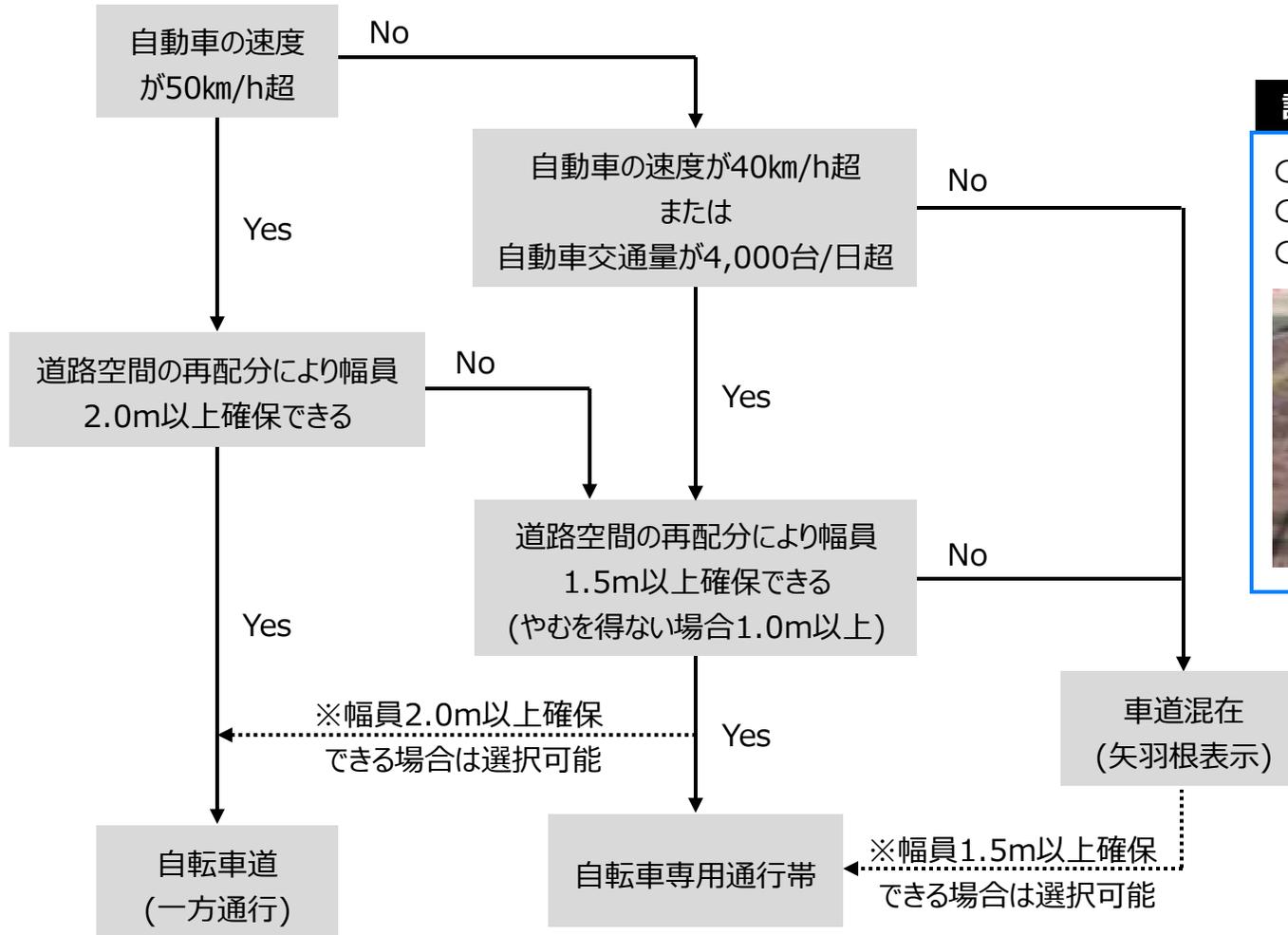
計画路線図

計画路線一覧表

路線番号	種別	路線名	延長
1-1	県道	今治停車場線	400m
1-2	県道	今治港線	640m
2	市道	日吉町線	600m
3-1	市道	宮脇片山線	1,100m
3-2	県道	今治波方港線	870m
5	市道	蔵敷唐子台線	930m
6	国道	317号	810m
9	県道	今治波方港線	750m
10	市道	今治駅天保山線	2,350m
12	市道	今治駅北浜町線	330m
19	国道	317号	1,880m
20	市道	今治駅高橋線	190m
26	市道	北宝来近見線	2,800m
28	市道	臨港線	650m
29	国道	317号	960m

自転車通行空間の整備形態選定フロー

自転車ネットワーク路線の整備形態の選定は、街路網の状況や路線毎の道路空間の現状を踏まえ、「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」における整備形態選定フローを基本としている。



計画路線の整備

- 全計画路線の暫定整備済 (矢羽根表示)
- 用地買収無しの場合の現道幅員の再配分整備
- 整備実施時に各路線の幅員構成を決定



市道日吉町線 (学園通り)



自転車分担率は、大阪府、京都府に次ぎ、愛媛県は第3位、約14%と高く、とりわけ市内の高校生に関しては、**約9割**が自転車で通学している状況にある。

当該路線周辺には高等学校5校と中学校1校が立地し、自転車で通学する生徒が多く、主に自転車歩行者道を通行しており、2021年に矢羽根を整備している。

将来的には、幅員の再配分により自転車通行空間を整備する予定。(時期は未定)

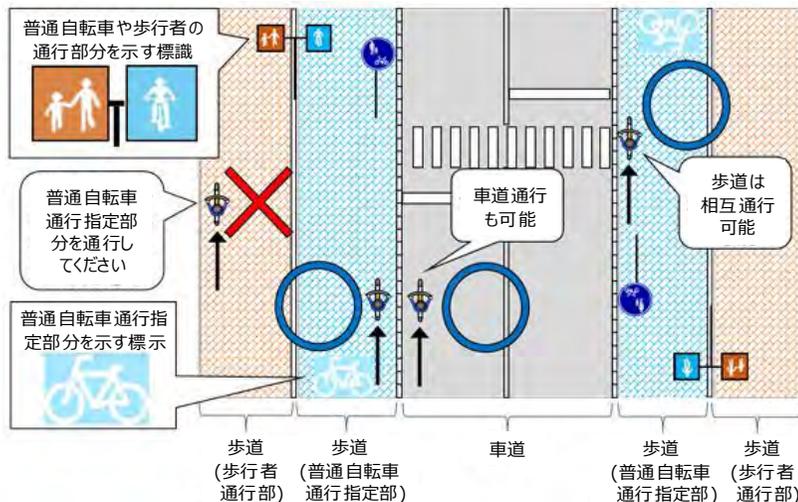
道路概要

路線延長：L=0.6km

道路幅員：W=25m

普通自転車通行可の歩道の交通ルール

[警視庁HPより]



写真

標準断面図



サイクリングターミナル（今治駅前サイクリングターミナル）

今治駅前サイクリングターミナル（i.i.imabari! Cycle Station）

1. JR今治駅におけるレンタサイクル需要把握と対応

- ・ 2011年から9年間「JR今治駅臨時レンタサイクルターミナル」需要を検証。
 - ・ レンタサイクル貸出し実績が約3.3倍に増加、また、外国人利用者の比率も高い
- ⇒常設のサイクリングターミナル2016年度整備着手（2020年7月20日にオープン）

2. 整備にあたって

- ・ 佐藤可土和氏にデザイン監修をしていただき、また、サイクリスト等が利用しやすい施設整備を行った。



【拡張施設について】

- ◆ 建設工事費（建屋のみ）
⇒191,000千円（合併特例債を活用）
- ◆ 敷地面積
1,132.35㎡
- ◆ 床面積
591.03㎡（鉄骨造 平屋）
- ◆ 整備期間（土地造成、計画等含む）
2016年度～2020年度



サイクリングターミナル（今治駅前サイクリングターミナル）

自転車組み立てスペース（無料）

ウッドデッキの空きスペースを輸行者は自転車の組み立てスペースとして利用可能。
※営業時間内は、フロアポンプや工具の無料貸し出し有り。



更衣・シャワー室

一人1回(30分) 200円

【施設内容】

- シャワー
(石鹸、タオル等は各自用意)
- 更衣室
- トイレ（ウォシュレット機能付）
- パウダースペース有り



受付カウンター

- レンタサイクル受付
- 特産品物販（今治タオル等）
- 手荷物預かり（1日500円）
※レンタサイクル利用者及びサイクリストに限ります。
※別途手ぶら便サービス提携有り

自転車洗車スペース（無料）

- 利用の際はスタッフへ声掛けをしてください。
- ブラシ等の無料貸出有り
※洗剤類の貸出はありません。



自転車格納庫



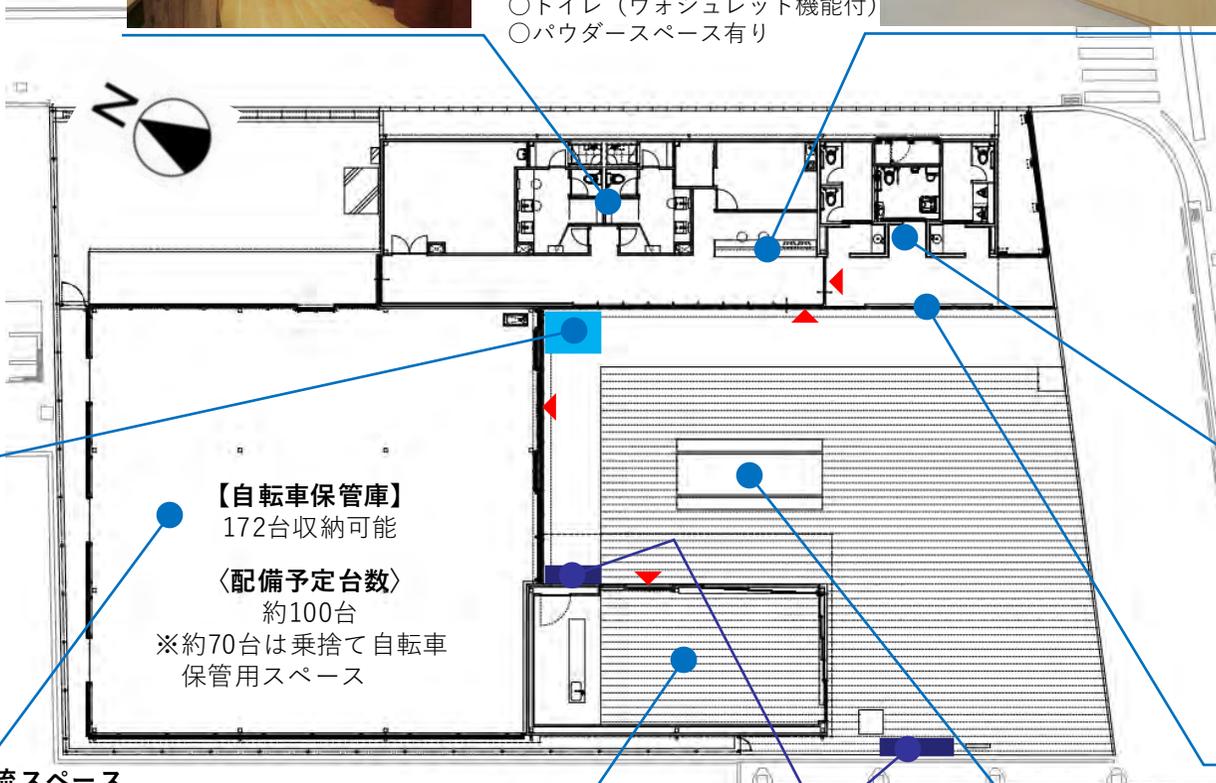
【自転車保管庫】

172台収納可能

〈配備予定台数〉

約100台

※約70台は乗捨て自転車
保管用スペース



公衆トイレ

【利用可能時間】

男性用・女性用：終日
多目的トイレ：8時～20時



顔出しパネル



交流スペース

(2022.4.1～観光インフォメーションセンター開設)



来訪者用サイクルスタンド

交流スペース(一部)及びウッドデッキ広場(一部)は駅前の賑わい創出に繋がる取り組み等の催しに対し随時貸出し予定。(有料)
※詳細は受付に要問合せ。

ウッドデッキテーブル



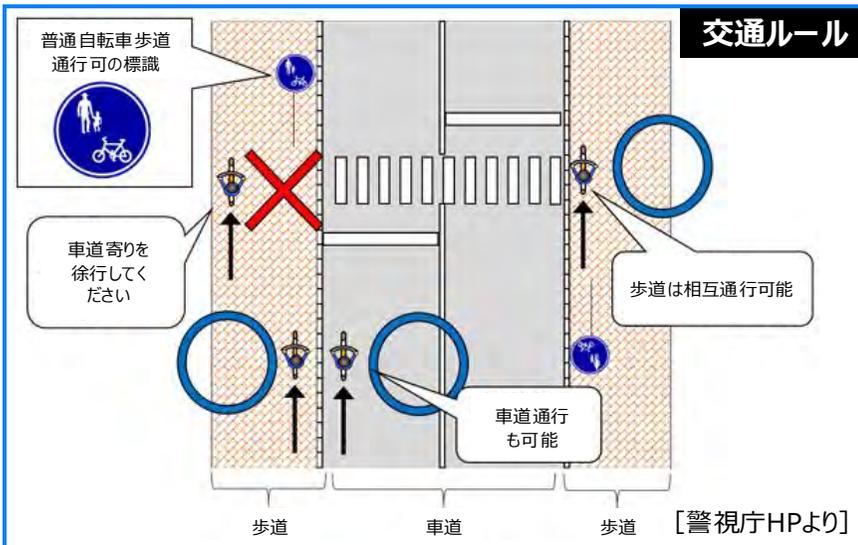
市道北宝来近見線自転車通行空間整備事業

しまなみ海道と今治駅を結ぶ自転車ネットワークの主要路線として、現道幅員の再配分により自転車専用通行帯を確保し、車・自転車・歩行者が安全で快適に通行できる道路空間を整備する。



事業概要

路線延長：L=2.8km
 道路幅員：W=15m
 事業期間：2022年度～2028年度
 事業内容：歩道及び植樹帯を縮小し、
 車道の両側に自転車専用
 通行帯を整備する。



現況

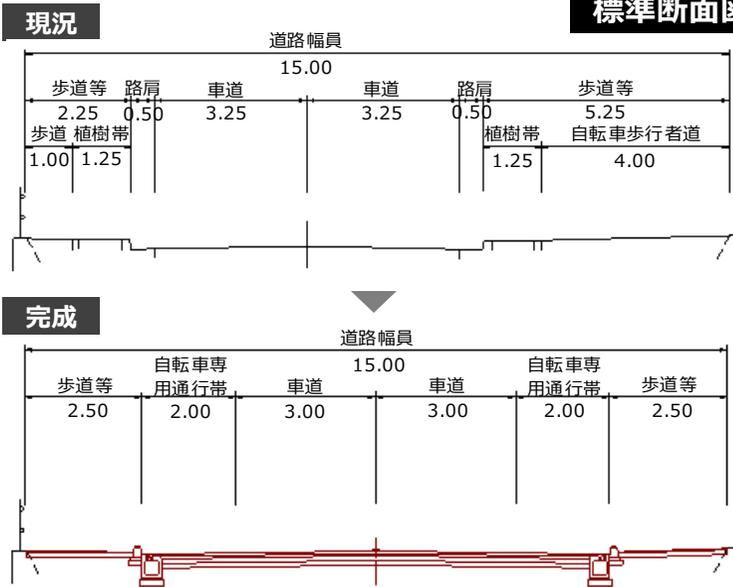


写真

完成イメージ



標準断面図



(国)317号および(主)今治波方港線 自転車走行空間の整備計画



今治港の歴史

【旧今治港の起源】

太平記に「今の湊に船をそろえ」とあり、古くから「今張（今治）」の名が船着き場として記録されている。その後、関ヶ原の戦いで功績を挙げた藤堂高虎公が1600（慶長5）年に今治城を築城し、舟入船頭町を造ったことから今治港の歴史が始まった。

【今治港の築港】

港が急激に発展していくのは、明治から大正にかけてのことで、今治海運業のパイオニア・飯忠七の奮闘で1876（明治9）年に大型船を誘致したことから今治の産業、主に伊予綿ネル（今治タオルのルーツ）などの繊維産業が活気づくこととなり、1921（大正10）年に重要港湾に、その翌年に四国初の開港場（外国との貿易が許された港）に指定された。

【戦後復興とカーフェリー時代】

戦後になると、商いの港だけでなく、観光の港としても注目されるようになる。1959（昭和34）年に民営としては全国初のカーフェリーが今治～三原間に就航。九州と阪神方面を結ぶ大型フェリーも寄港するなど航路は拡大し「大型カーフェリーの時代」が到来した。また今治港と島しょ部を結ぶ島民の生活航路も整備され、1974（昭和49）年にピークを迎えた今治港の乗降客は年間約300万人となった。

【瀬戸内しまなみ海道の開通】

右肩上がりに発展を続けてきた今治港は、1999（平成11）年の「瀬戸内しまなみ海道」の開通によって転機が訪れる。今治から尾道間をいつでも時間を気にせず行き来できる橋は、物流と人流に大きな変化をもたらした。交通の足が船から車へとシフトし、定期航路は徐々に縮小していった。

【交通の港から交流の港へ】

開港から100年たった今、今治港の周辺は少しずつ変化している。2015（平成27）年に港の新しい拠点として「みなと交流センター はーばりー」が完成したのを皮切りに、2020（令和2）年には600mの「海のコンコース」、2021（令和3）年には「KATAHARA WOOD BASE」を整備。2022（令和4）年10月、今治港の開港100周年を祝う記念式典が華々しく行われた。かつて大型船やフェリーが行き交う「交通の港」であった今治港は、人と人が交わる「交流の港」を目指し、再び転機を迎えている。



▲今治城と藤堂高虎像



▲1934年完成・今治港全景



▲今治～三原間に就航したフェリーボート「あき」



▲2015年完成・みなと交流センターはーばりー

みなと交流センター「はーばりー」



みなと再生

「交通」の港から「交流」の港を基本コンセプトに港の活性化を図ろうと2013年度から旧港湾ビルの建て替えに着手し、2016年7月から供用を開始。2020年6月に600mの海のコンコースが完成し、みなと再生事業における全ての工事が完了した。

施設の概要

みなとホール（1階）

収容人数：150名程度 248㎡、Wi-Fi完備

貸事務所（1・2・3階）

会議室①・②（3階）

収容人数：①12名程度 24㎡ ②8名程度 18㎡

キッチンスタジオ（4階）

収容人数：20名程度 85㎡ 調理台5台、テーブル5台、椅子24脚

展望デッキ（4階） ※一部を民間事業者に貸し出し



イベント情報



せとうちみなとマルシェ

今治港開港100周年を機に2022年11月から始まった。毎月第2・4日曜日に開催され、獲れたての魚や、地元産の新鮮な野菜、タオルやお菓子など、今治の特産品が盛りだくさん。

しまなみへは自転車で行こう！ SINCE2009

特定非営利活動法人
シクロツーリズムしまなみ

所在地：愛媛県今治市 <http://www.cyclo-shimanami.com/>

概要

新しい旅のスタイル「シクロツーリズム（自転車旅行）」の普及・提案を通して、持続可能な地域づくりを目指す民間非営利団体。自転車旅行地としてのブランド強化に地域主導型で取り組み、地元ネットワークづくりや交流のしくみづくり等を推進。昨今はサイクリングによる健康増進事業、女性のコミュニティづくり等、自転車利用の裾野拡大に尽力している。

取組詳細

①地域限定旅行業

ビギナーが安心して参加できる交流ツアーを実施。

②宿泊業・ゲストハウス「シクロの家」「なみトみなと」運営

旅人と地域をつなぐ情報交流拠点として開業。

③出版業/自転車旅行を支援するマップやガイドブック発刊

地域をゆっくり旅する指南情報誌等の制作。

④自転車を活用した持続可能なまちづくり

住民参加型の受入環境整備・ネットワークの構築。

自転車利用の拡大と安全安心ライドの普及。

地域の担い手との協業によるコミュニティの創生。等

自転車の旅を全力サポート！

自転車を活用した持続可能なまちづくり

①地域限定旅行業

交流満載＆安心・安全サポートのツアーを提供



②宿泊業

しまなみゲストハウス「シクロの家」「なみトみなと」
便利な立地・JR今治駅前と長期滞在にお勧めな波方



③出版業

しまなみの道を実走して手掛けたガイドブックとマップ。旅の準備にぴったり。



④シクロカフェ



サイクリング途中に立ち寄れるカフェは、研修、打合せ等での利用もOK！

⑤シクロ農園



里山で遊び、学ぶ体験プログラム等を実践。地元の子どもの居場所にも。

⑥自転車の似合う風景づくり ⑦多様な世代への安全・安心啓発



しまなみの絶景に佇む人型スタンド。愛車をかけて、記念撮影をどうぞ。



自転車ヒロバ&スマートライド！ライフステージに合わせて、楽しみながら自転車に親しむ実践活動を展開

⑧産官民協働による体制整備・プロモーション活動



「サイクルオアシス」「サイクルトレイン」など、しまなみブランド構築に向けた取組みは地域連携の賜物

「線の旅」を支えるサイクルオアシス

きっかけ

車の旅よりもトラブルに見舞われる心配が多い自転車の旅をサポートできれば...

概要

しまなみエリアでのサイクリング中に、気軽に立ち寄り休憩や地域住民との交流が図れる“おもてなしの場”として住民参加型で整備。

各オアシスには、空気入れやメンテナンス用具が配備されている。マイボトルへの給水、サイクリング情報の入手もできる。

2011年～

しまなみサイクルオアシス整備開始

2012年

しまなみ島走レスキュー整備開始

2013年～

今治市内への拡充整備開始

2014年～

はまかぜサイクルオアシス整備開始
南予へ拡充

2016年～

東予へ拡充
中予へ拡充

2024.1.31 現在

〔今治・しまなみエリア〕
（県内107か所）※尾道市にもあり
今治市：86か所
上島町：21か所

〔南予エリア〕（43か所）
宇和島市：17か所
松野町：6か所
鬼北町：11か所
愛南町：9か所

〔八幡浜エリア〕（50か所）
八幡浜市：10か所
大洲市：11か所
西予市：10か所
内子町：10か所
伊方町：9か所

〔東予東部エリア〕（84か所）
新居浜市：24か所
西条市：41か所
四国中央市：19か所

〔中予エリア〕（90か所）

松山市：34か所
伊予市：13か所
東温市：14か所
久万高原町：15か所
松前町：5か所
砥部町：9か所

【タペストリー（認定施設へ掲示）】



サイクルオアシス総合拠点として

旅人と地域をつなぐ情報交流拠点



SHIMANAMI GUEST HOUSE
CYCLO NOIE

JR今治駅東口から徒歩1分
しまなみゲストハウス シクロの家
☎0898-35-4496
E-mail cyclo@cyclonoie.com
〒794-0028愛媛県今治市北宝来町1丁目1-12

あなたの
しまなみ旅の
「記録」を！
「デジタル旅ノート」



ドミトリータイプのベッド



シャワー・洗濯機



自転車の保管とメンテナンス



サイクリング情報



地元食材の提供



サイクリング土産



交流・情報交換



手荷物預かり

ブルーラインについて①

JR今治駅からJR尾道駅まで、愛媛県側と広島県側で統一したブルーラインによりサイクリスト（自転車愛好家）が迷わずしまなみ地域を楽しめるようにすることが目的

【設置目的】 世界中から訪れるサイクリストの道しるべ

- ◆サイクリング推奨ルートを示し、多くの方に分かりやすい案内を行う。
- ◆左側通行の原則であることを明示する。
- ◆自動車運転者に対して、自転車通行の注意を喚起する。

【ブルーライン敷設概要】

<広島県側>

- ◆施工時期：2010年10月～2011年3月

<愛媛県側>

- ◆施工時期：2012年1月～2012年3月

【施工情報】

雨の日（WET時）でも自転車のタイヤが滑りにくい「熔融式滑り止め舗装」で敷設することで、Wet時の滑り抵抗が車道舗装と同様になるような仕様としている。

（参考）W=20cm 約1,000円/m ※白線：約225円/m（約4倍の金額）



サイクリングターミナル（糸山サイクリングターミナル）

第1期工事

(1) オープン 1999年4月20日

(2) 施設概要

敷地面積：当初：6,451.84㎡ 拡張施設：2,972.59㎡

合計：9,424.43㎡

構造：当初：鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 2階建

拡張：鉄骨造 平屋建

延床面積：当初：2,152.79㎡ 拡張施設：485.52㎡

合計：2,638.31㎡

客室：19室（洋室14、和室5）

宿泊定員：最大70名

駐車場：85台（拡張含む）

その他：レストラン、自転車格納庫、屋外公衆トイレ、
自転車組み立てスペース、自転車洗車スペース、
シャワールーム、更衣室、ウッドデッキテラス等

(3) 事業費 当初：約10億2,800万円

拡張：約 1億5,800万円（建屋関係のみ）

(4) 管理運営（指定管理）

一般財団法人 今治勤労福祉事業団

区分	料金（1室あたり1名の料金 ※消費税込）			
	利用人数	大人	中学生	小学生・4歳以上の幼児
洋室・和室 大広間	1名	4,400円	3,960円	3,520円
	2名・3名	3,300円	2,970円	2,640円
	4名以上	2,750円	2,530円	2,200円



ブルーラインについて②（路面案内ピクト含む）



- ◆ 距離標示・・・今治～尾道間 1 kmごとに設置
- ◆ 方向標示・・・交差点など他方面からの流入がある箇所、迷いそうな箇所に設置
- ◆ 距離標・・・主要地点までの距離と方向を表示

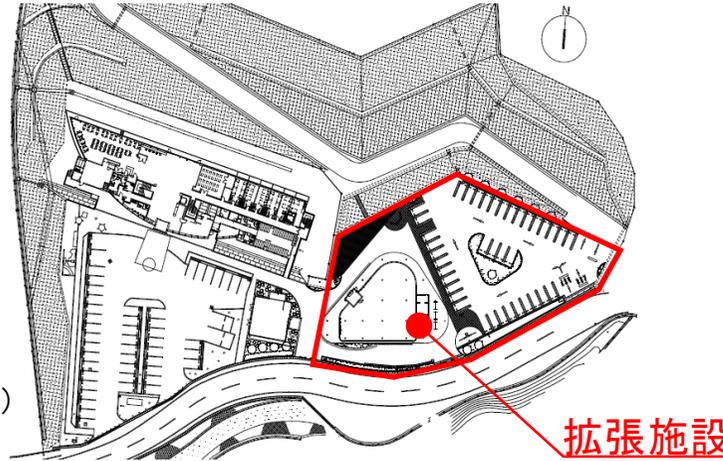
サイクリングターミナル（糸山サイクリングターミナル）

第2期工事

当初整備の施設では手狭となったことから隣接地に施設拡張。（2020年6月19日供用開始）

【拡張施設について】

- 建設工事費（建屋のみ）
⇒ 約1億5,800万円
- 敷地面積
当初：6,451.84㎡
拡張：2,972.59㎡ 計9,424.43㎡
- 延床面積
当初：2,152.79㎡
拡張：485.52㎡ 計2,638.31㎡
- 整備期間（土地造成、計画等含む）
2015年度～2020年度



サイクリングターミナル（糸山サイクリングターミナル）

更衣室

既存ロッカー室を
男女別更衣室に改修



ウッドデッキ



屋外公衆トイレ

駐車場（新設） 38台分

自転車組立スペース

サイクルスタンドは今回の
今治ライオンズクラブ寄附
物件。
ワークステーションは市購
入備品。

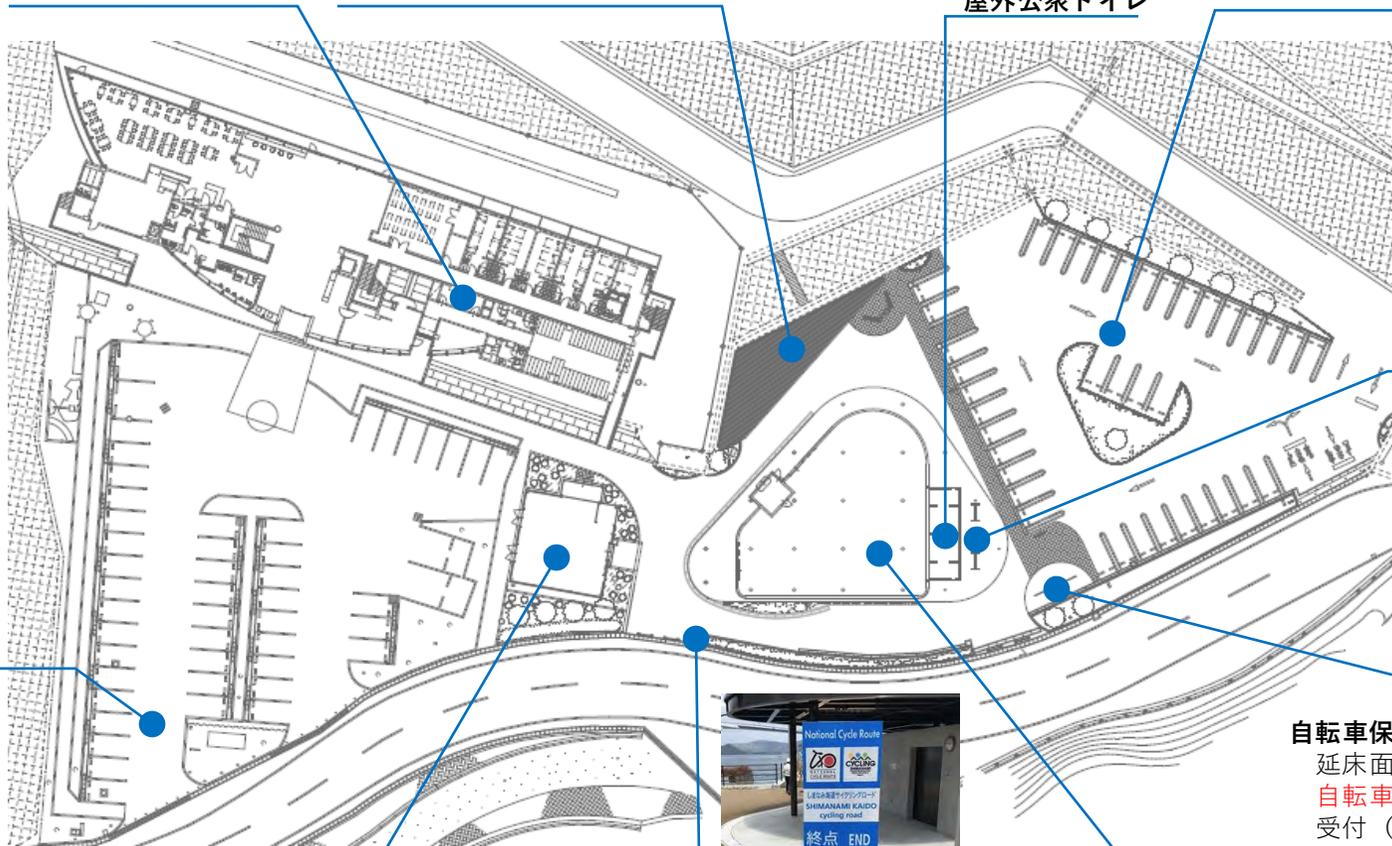


自転車洗車スペース



自転車保管庫（新設）

延床面積：485.52㎡
自転車約：326台保管
受付（事務室）



駐車場（既設） 47台分

自転車保管庫（既設） ※今回一部改修

延床面積 115.22㎡
自転車約186台保管



ナショナルサイクルルート 起終点看板

しまなみ海道自転車道（来島海峡大橋）における交通安全対策

しまなみ海道自転車道・来島海峡大橋（取付道を含む）における交通安全対策

▼注意喚起ポール



▼音声案内（シェアザロード、おもてなし）



▼対面通行注意路面表示（減速）



▼多言語注意標識（歩行者注意）



「道の駅」ようみいきいき館（管理運営：株式会社しまなみ）



【施設概要】

大島の南端・下田水（ただみ）港そばにある「道の駅」。来島海峡の魚介類や地元農産物の販売、海鮮バーベキュー、炭焼きの七輪焼が楽しめる。館内の情報コーナーではしまなみ来島海峡遊覧船の受付や道路情報、周辺地域の観光情報の提供を行っている。

- ◆管理運営者：株式会社しまなみ
- ◆供用：1999年4月
- ◆全体面積：約8,589㎡
- ◆年間来館者数：106,870人（2023年度）



▲ようみいきいき館



▲プロモーション動画

サイクルシップ®（株式会社しまなみ）

しまなみ海道沿線の道の駅等を管理運営する株式会社しまなみでは、定期航路にとらわれず、観光客等の要望に合わせたクルーズが可能なサイクルシップ（チャーター船）を就航。

◆就航日：2021年3月22日（お披露目式開催日）

◆概要

○最大搭載人員

73名（旅客定員70名／クルー定員3名）

※内客室内定員48名

○船内設備

- ・自転車積載（1F・2F合わせて約50台積載可）
- ・屋上オープンデッキ
- ・自転車整備工具
- ・コンセント（20口）
- ・室内全席USBコンセント付
- ・室内冷暖房
- ・船内Wi-Fi
- ・トイレ
- ・バリアフリースペース など



今治駅自転車駐車場

今治駅周辺の良い環境の確保並びに自転車利用者の利便の増進と市街地の美化を推進するため、今治駅周辺の高架下で自転車駐車場を設置し、自転車（原動機付自転車を含む）の駐輪事業を行っている。

- ・**今治駅北高架下自転車駐車場（今治市北宝来町二丁目甲774番地2）有料 325台収容**
重量鉄骨造2階建 1992年1月6日建築 延床面積729.99㎡
- ・**今治駅南高架下自転車駐車場（今治市北宝来町一丁目甲726番地2）無料 277台収容**
コンクリート床リフトスプリットブロック擁壁造 1992年3月19日建築 延床面積542.26㎡

【今治駅北高架下自転車場（有料自転車駐車場）概要】

- ・施設開閉時間：午前6時～午後10時（当該時間以外は入口を施錠）
- ・使用料

区分		種別	
		自転車	原動機付自転車及び市長が特に許可した自転車以外の車両
一時使用	1日1回	100円	160円
	1か月	1,820円	2,150円
定期使用	3か月	4,930円	5,790円
	6か月	9,110円	10,730円

一時使用の場合は、種別に応じて回数券を使用することが可能。券11枚つづりを10枚分の金額で販売

・利用実績（利用料金）

R3年度：5,746,280円、R4年度：5,538,810円、R5年度：5,164,750円